

サメとエイ

サメとエイはともに軟骨魚類なんこつぎょるいとよばれるグループですが、エラの位置が異なります。

サメやエイの仲間は、軟骨魚類というグループに属しています。その名の通り、歯などを除いて、骨のほとんどが軟骨でできています。魚の中でも古い時代からはんえい繁栄しており、世界の海に広く分布します。

一般に、サメは流線型りゅうせんけいで、エイは平たい形なので、見分けるのは難しくありません。しかし、中にはサメなのに平たい種や、エイなのにサメと名付けられた種があります。

サメとエイを見分けるポイントはエラ穴の位置です。

サメの仲間は、エラ穴が体の側面にあります。これに対して、エイの仲間は、エラ穴が体の腹側にあります。

カスザメの仲間は、エイに似た平たい姿ですが、エラ穴が体の側面にあるのでサメの仲間です。一方、ウチワザメやサカタザメは、「サメ」と名前がついていますが、エラ穴が体の腹側にあるのでエイの仲間です。

軟骨魚類



ドチザメ



エイラクブカ

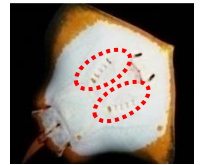
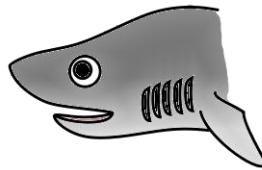


シビレイ



ツマリカスベ

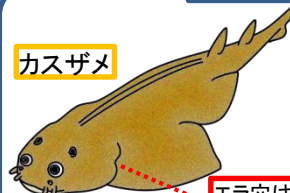
サメとエイのエラ穴



サメの仲間はエラ穴が体の側面にあり、エイの仲間はエラ穴が体の腹側にある。

サメ？エイ？

カスザメ



エラ穴はこの中にかくれている

カスザメは、エラ穴が体の側面にあるので、サメの仲間



ウチワザメ

ウチワザメは、エラ穴が体の腹側にあるので、エイの仲間